

2019年8月27日

ファスニングジャーナル(8面)に掲載されました

文部科学大臣表彰

日東精工の岩崎拓夫選手

昨年のアジア競技大会 パラグライダーで団体優勝

日東精工(株)(本社〓京都府綾部市。材木正己社長)の従業員である岩崎拓夫氏は、昨年8月に開催された「第18回アジア競技大会」におけるパラグライディング競技に日本代表選手として出場。見事に団体優勝の成績を挙げた評価に、先般7月23日に東京都千代田区のホテルニューオータニにおいて文部科学大臣より表彰を受けた。

第18回アジア競技大会は、昨年8月18日〜9月2日までインドネシア共和国ジャカルタ・パレン



バンで開催された。大会では、はじめてパラグライディング競技が新設されて、JHF(日本ハング・パラグライダー連盟)2017年度リーグチャンピオンに輝いた同社パラグライダーチームの岩崎拓夫氏が男子チームの団体選手に選出がおこなわれた。

岩崎選手の出場には、材木社長はじめ会社を挙げて応援。また、開催国であるインドネシアにおいては、日東精工グループの現地法人PT. NITTO ALAM INDONESIA (NAI社)の社員と家族が競技場でたくさんの方々の声援を送った。

大会では、強豪国が多いなか、クロスカントリ―競技において日本団体男子チームが見事に金メ

上の写真は競技準備を整えた岩崎選手。下は左端が同選手、中央は鈴木大地スポーツ庁長官。表彰式後の記念撮影

ダルを獲得し、岩崎選手はその中心的役割を担って活躍した。

この成績を称え、去る7月23日に東京都千代田区のホテルニューオータニを会場に表彰式が執りおこなわれ、チームメイトとともに文部科学大臣

表彰を受賞した。岩崎選手は「大変うれしく光栄に思います。賞を頂けたことが、これまで支援してくださった方々への恩返しになれば幸いです。今後も挑戦していきます」と喜びのコメントを寄せている。

